

VGC-2659 (H) 型 2連棟

建築面積	29.97㎡ (9.07坪)	(間口柱芯寸法) × (奥行柱芯寸法)
------	----------------	---------------------

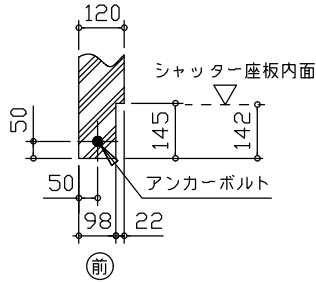
構造耐力上主要な部分の部材

部 材 名	形 状	板 厚	使用材料	有効細長比
前 柱	□-85 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後 柱	□-115 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中 柱 (左右)	□-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
後 柱 (中)	□-85 × 84	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	74.5
前 柱 (中)	□-85 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	81.1
桁 前	㇏-336.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中	㇏-182.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 後	㇏-155 × 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
梁	㇏-310 × 114	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
壁パネル	㇏-25 × 701<350.5>	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	—	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	—	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	—	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

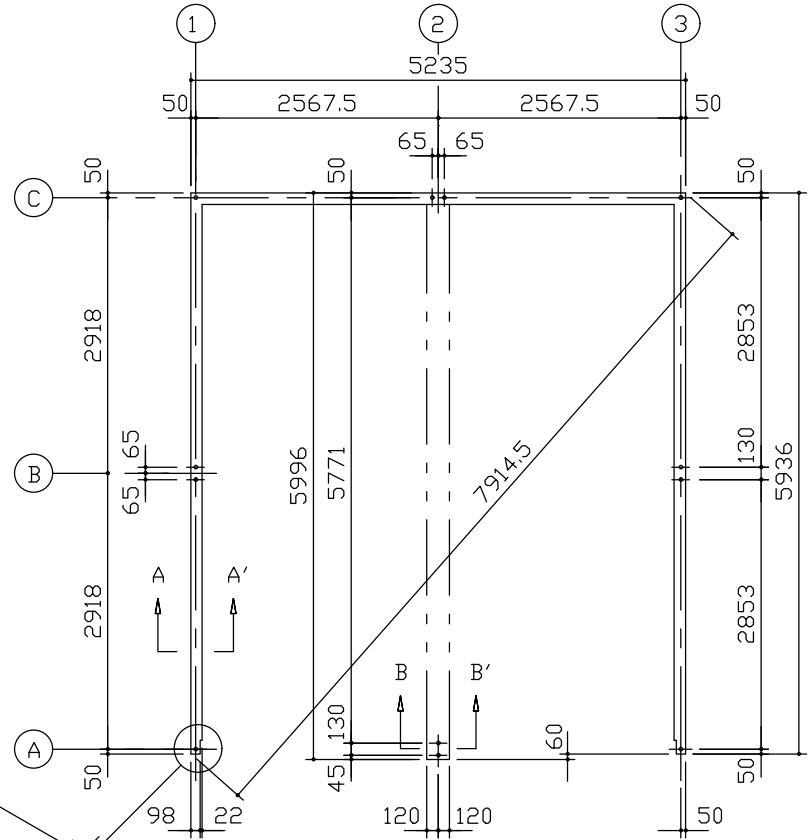
構造耐力上主要な部分以外の部材

部 材 名	形 状	板 厚	使用材料
上 枠	㇏-430 × 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下 枠	㇏-81 × 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	㇏-26 × 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間 柱	㇏-31 × 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋 根	㇏-88 × 600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	㇏-14.5 × 71	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 前	㇏-130 × 113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 後	㇏-122 × 48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 (ツートンカラー)
ケ ラ バ	㇏-130 × 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 (ツートンカラー)

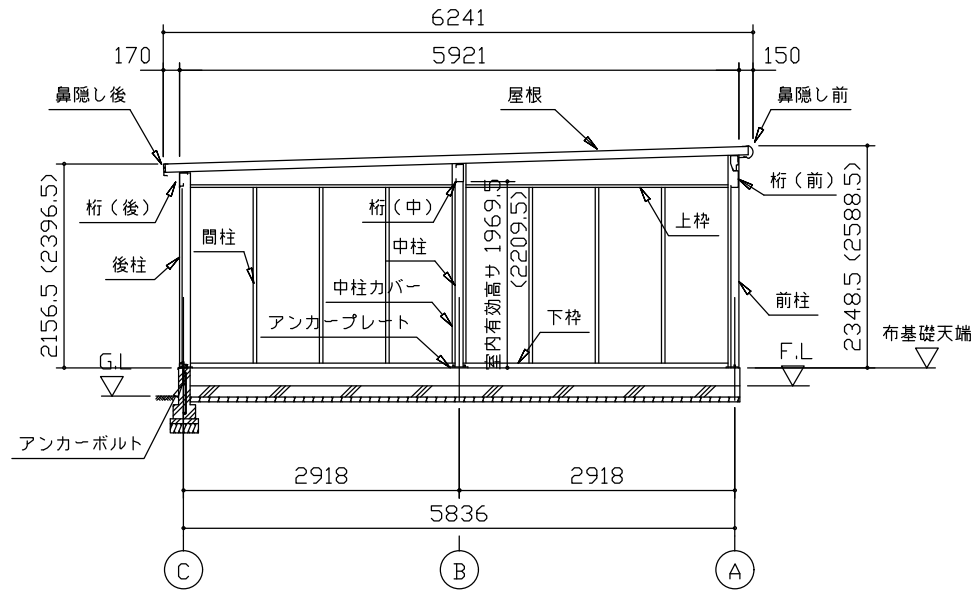
シャッター降下面は土間を
水平に仕上げてください。



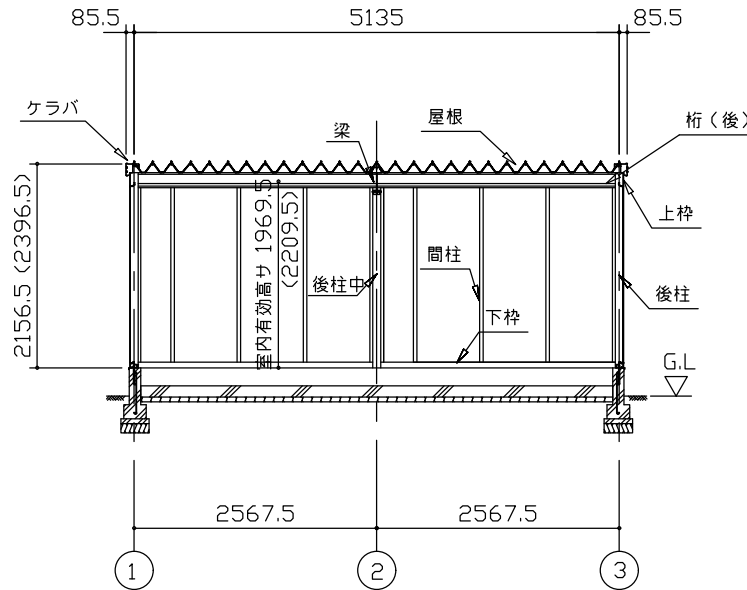
シャッター部分詳細図
(S = 1/20)



布基礎伏図 (S= 1/80)

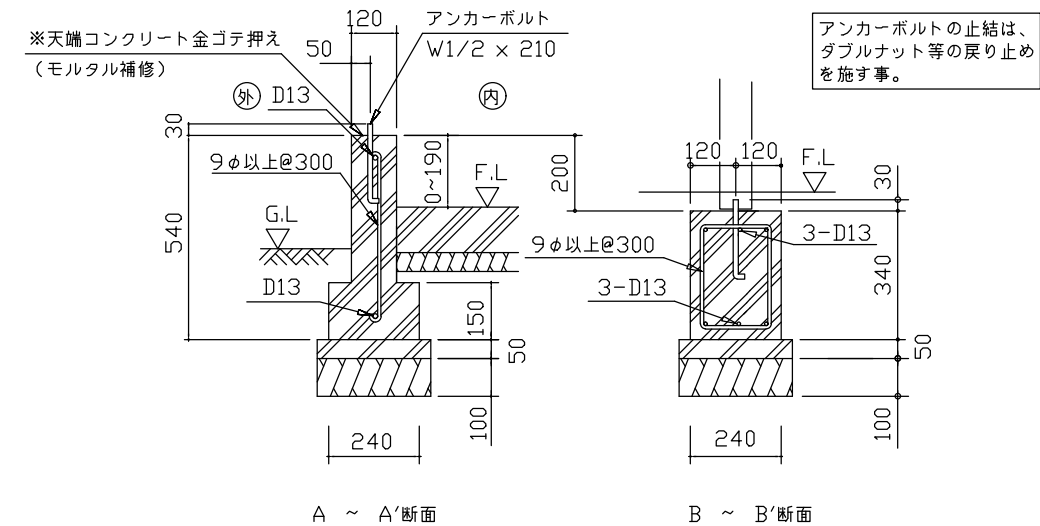


側面断面図 (S= 1/80)



正面断面図 (S= 1/80)

- ・布基礎断面図 縮尺=1/20
- (地耐力 50kN/m²以上,コンクリート設計基準強度 18N/mm² 以上)
- (基準風速 34m/s , 地表面粗度区分Ⅱ)
- <上記条件での参考図です。>
- 注1)地耐力が 50kN/m² 未満 (30kN/m² 以上) の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。
- 注2)寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
- 注3)その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



アンカーボルトの止結は、
ダブルナット等の戻り止め
を施す事。

- ・() 内寸法ハ、Hタイプヲ示ス。
- ・有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセシ。

名 称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ	株式会社 ヨドコウ
機種名	VGC-2659(H)型 (2連棟)	